

Ⅲ 安心・安全で快適な緑のまち

1 緑と環境共生

(資源環境費)

事業名		予算規模	決算規模
1 環境に配慮した意識の醸成		2,242,000 円	1,459,012 円
内 訳	環境基本計画推進	1,404,000	845,048
	環境協働推進	710,000	613,964
	スマートシティ推進	128,000	0

1 施策の成果

(1) 環境基本計画推進

- ① 板橋区資源環境審議会 開催回数1回(※ほか1回延期) 委員23名
 - ② 板橋区資源環境審議会「環境政策・温暖化対策部会」 開催回数2回 委員8名
 - ③ 板橋区環境基本計画2025に基づき取り組まれた施策の実施状況や環境の現況をまとめ、「板橋区環境白書」(本編・資料編・リーフレット)を発行し、併せて区ホームページで公開した。
また、ポスターを作成し、区施設、小中学校及び町会自治会の掲示板に掲示し周知を図った。
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とした。

(2) 環境協働推進

「板橋区環境教育推進プラン2025」に基づき、持続可能な社会の実現を担う人づくりのため、区民や区民団体、事業者、学校等及び区などの各主体による環境教育や協働による取組を推進した。

環境教育推進基盤整備事業として、環境教育の指導者(区民、教員、保育士等)が活用できる具体的に体験的な板橋区版のプログラムを開発し、Web版の更新を行った。

また、協働による取組として、区民と行政の協働組織である「緑のカーテンサポートクラブ」との事業を実施したほか、多様な環境問題について、各主体が具体的な協働事業(プロジェクト)を企画から実施、運営まで実践する「協働プロジェクト」を展開した。

- ① 板橋区環境教育推進協議会 2回
- ② 環境教育プログラム部会 5回
- ③ 緑のカーテンサポートクラブ活動人数 延30人
- ④ 協働プロジェクトの実施 1回(※ほか2回中止)

※ 台風19号接近及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(3) スマートシティ推進

“板橋区らしいスマートシティ”の具現化に向けたプロジェクトを創出すること等を目的として、産・官・学等の連携の場である「スマートシティ推進協議会」の開催を令和2年3月に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とした。

(資源環境費)

事業名	予算規模	決算規模
2 エコポリスセンターの運営	173,761,000 円	173,552,929 円

1 施策の成果

(1) 指定管理者制度の導入

エコポリスセンターは、環境学習・環境情報発信の拠点として平成7年4月に開設され、平成24年度より指定管理者制度を導入している。民間事業者のノウハウを最大限に活かし、魅力的かつ効果的な環境教育・学習を展開し、区民の環境に対する意識向上を図った。

- ① 環境イベント・環境啓発事業(フリーマーケット・エコアクション9等)
309回(ほか12回中止) 延 42,141 人
- ② 環境学習事業(出前授業・リサイクルワークショップ等) 174回(ほか6回中止) 延 6,158 人
- ③ 指導者養成事業(板橋エコみらい塾等) 22回(ほか3回中止) 延 451 人
- ④ 個人・団体・企業の育成事業(環境なんでも見本市・大学連携等)
88回 延 4,921 人
- ⑤ エコポリスセンターの拠点機能活性化事業(環境活動連絡会・自主活動支援講座等)
13回(ほか3回中止) 延 166 人
- ⑥ 緑のカーテン苗配布 4月～5月 525 本
- ⑦ 生活用品再生事業(現代のいかげやさん) 修理受付件数 3,407 件
- ⑧ 環境情報資料室(書籍、資料、雑誌、ビデオ)
蔵書点数 12,097点 貸出点数 812点
- ⑨ エコポリスセンターニュース
143～146号 116,000部 内訳:各号29,000部
- ⑩ 来館者数 174,661人
- ⑪ エコポリスセンター会員登録 個人会員 10,715人 団体会員 25団体
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業について中止とした。

(2) 展示設備等

平成31年4月より、タブレット端末を用いたアンケート(エコアクション9)の内容改訂及び仕様変更を行い、来館者が環境に興味を持ち、意識向上につなげる機会を提供した。

館の総合案内を行う「コンシェルジュ」は、子どもたちを対象に工作やワークショップ等も実施し、年間を通して交流を図ることで、館の賑わい増進及び来館者の増加に貢献した。

「エコライフフェア」や「環境なんでも見本市」ではSDGsに関する展示を実施し、イベント参加者がSDGsについて知り、考える機会を提供した。

(資源環境費)

事業名		予算規模	決算規模
3 環境管理・監査システム		16,344,000 円	14,880,135 円
内	環境マネジメントシステム普及・啓発	32,000	31,896
訳	板橋区環境マネジメントシステム推進	16,312,000	14,848,239

1 施策の成果

(1) 環境マネジメントシステム普及・啓発

区内事業所に対して、板橋エコアクションの普及・啓発活動、研修機会の提供及び取組状況の公表を区ホームページにて行った。

また、ISO14001及びエコアクション21の各認証取得事業者に対しても、研修機会の提供等のサポートを行った。

(2) 板橋区環境マネジメントシステム推進

① 区の行政運営全領域にわたる活動を、環境の視点でマネジメントするために、「板橋区環境マネジメントシステム」を運営した。

令和元年度は、「板橋区環境マネジメントシステム」の適用を受ける区の組織が有効に機能し、維持されているかを確認するため、ISO 14001の審査機関による更新審査を受審した。

② 区施設ごみ減量化推進を図るため、区施設から排出されるごみを総合的に管理し、効率的な収集を行った。

2 施策の現況

(1) 環境マネジメントシステム普及状況

	29年度	30年度	元年度
板橋エコアクション新規参加事業者	1	6	0
板橋エコアクション参加事業者延数	174	180	180
I S O 14001 新規認証取得事業者	4	0	3
I S O 14001 認証取得事業者延数	137	137	140
エコアクション21新規認証取得事業者	0	1	1
エコアクション21認証取得事業者延数	43	44	45

(2) 区施設ごみ排出量の推移

① 施設ごとの排出量の推移

	29年度		30年度		元年度	
区施設ごみ排出量	320,414 (kg)		315,002 (kg)		306,643 (kg)	
区施設数	113 (か所)		111 (か所)		111 (か所)	
	施設数	排出量(kg)	施設数	排出量(kg)	施設数	排出量(kg)
地域振興課	19	23,739	19	25,621	19	21,760
戸籍住民課	1	1,309	1	1,213	1	852
文化・国際交流課	1	3,177	1	4,365	1	2,981
産業振興課	3	1,902	3	1,738	3	1,752
赤塚支所	1	7,995	1	6,628	1	6,926
長寿社会推進課	10	6,316	10	6,187	10	5,067
生活衛生課	1	10,259	1	7,795	1	11,464
上板橋健康福祉センター	1	1,348	1	1,281	1	1,448
赤塚健康福祉センター	1	3,476	1	2,755	1	2,955
志村健康福祉センター	1	5,055	1	4,288	1	3,596
高島平健康福祉センター	1	1,796	1	1,643	1	1,479
おとしより保健福祉センター	1	4,844	1	3,367	1	3,388
志村福祉事務所	1	3,903	1	3,954	1	4,438
子ども政策課	13	7,801	13	7,869	13	8,388
保育サービス課	42	209,547	40	210,701	40	205,768
板橋東清掃事務所	2	6,061	2	5,061	2	4,676
板橋西清掃事務所	1	1,974	1	2,220	1	2,095
工 事 課	1	717	1	602	1	711
みどり公園課	3	2,290	3	2,243	2	921
生涯学習課	6	5,786	6	5,063	7	6,256
教育支援センター	1	658	1	664	1	839
中央図書館	2	10,461	2	9,744	2	8,883

② 品目別排出量の推移

	29年度	30年度	元年度
区施設ごみ排出量 (kg)	320,414	315,002	306,643
可燃ごみ (kg)	211,955	209,588	199,004
不燃ごみ (kg)	33,618	34,622	33,606
びん・缶・ペットボトル (kg)	3,021	2,872	2,433
古 紙 (kg)	71,820	67,920	71,600

(資源環境費)

事業名		予算規模	決算規模
4 ごみ発生抑制の普及啓発・指導		13,008,000 円	12,583,915 円
内 訳	板橋かたつむり運動推進	3,852,000	3,814,412
	ふれあい指導	8,833,000	8,447,123
	大規模建築物排出指導	323,000	322,380

1 施策の成果

板橋かたつむり運動を普及させ、ごみの減量及びリサイクルに関する意識啓発につなげるため、関係イベントを実施し、啓発冊子を配付した。

また、一般廃棄物指導として、住民への直接的なふれあい指導及び大規模建築物に対する廃棄物排出指導を実施した。

(1) 普及啓発

「板橋かたつむり運動」は、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の考え方をさらに発展、拡大させた運動で、「かたづけじょうず たいせつにつかう つかいきる むだにしない りさいくる」の頭文字を合葉にした「かたつむりのおやくそく」を区民一人ひとりに実践していただくことを目的としている。環境負荷の少ない資源循環型社会の実現を図り、区民の生活習慣をごみの減量やリサイクルに結びつけるため、この運動による各種の取組を実施した。

- ① 区民まつり等での「かたつむりのおやくそく」のPR
- ② 「かたつむりのおやくそくハンドブック」の作成及び配付
- ③ 区統合アプリ「ITA-Port」内でごみ・リサイクルに関する情報発信
- ④ 「ITA-Port(外国語版)」内で英語・中国語(簡体字)・韓国語でのごみ・リサイクルに関する情報発信
- ⑤ 小学四年生向け啓発冊子の作成及び配付
- ⑥ 小学一年生向け啓発リーフレットの作成及び配付
- ⑦ 幼稚園・保育園児、小学四年生を対象とした出前講座の実施
- ⑧ リサイクル推進員と協働したリサイクル事業の推進

(2) 一般廃棄物指導

① ふれあい指導

区民、事業者からの要望や苦情などへの対応、集積所における排出指導、不法投棄対応等、迅速かつ、きめ細やかな対応を図るため、ごみの収集作業時のほか、ふれあい指導班が直接現場に行き、対話を通じて指導・啓発業務を実施した。

また、集積所周辺的环境美化を図るため、「防鳥ネット」の貸出、不法投棄防止看板の設置等を行った。

② 大規模建築物排出指導

大規模建築物に対するごみの減量、分別、排出方法の指導を実施した。

2 施策の現況

(1) 普及啓発

① 啓発冊子の作成部数

	29年度	30年度	元年度
小学四年生向け啓発冊子	4,400	4,400	4,200
小学一年生向け啓発リーフレット	4,250	4,400	4,500
かたつむりのおやくそくハンドブック	44,000	43,000	43,000

② 出前講座(幼稚園・保育園・小学校)の実施

	29年度	30年度	元年度
回数	41	44	43
参加者	3,364	4,003	3,518

(2) 一般廃棄物指導

① 集積所

	29年度	30年度	元年度
集積所数	22,000	22,600	23,200

② 防鳥ネット

	29年度	30年度	元年度
貸出枚数	1,934	2,062	2,148

③ 大規模建築物排出指導

	29年度	30年度	元年度
事業用大規模建築物排出指導 (立入件数)	221	222	211
大規模建築物保管場所完了検査	50	66	52

(資源環境費)

事業名		予算規模	決算規模
5	資源循環協働推進	140,935,000 円	135,196,776 円
内 訳	集団回収	91,166,000	89,217,519
	食品廃棄物減量	1,893,000	1,804,870
	環境美化啓発	39,933,000	37,160,510
	エコポリス板橋環境行動	7,943,000	7,013,877

1 施策の成果

限りある資源の有効利用とごみの減量、環境美化を図ることを目標に、区民と協働した各種事業を実施した。

(1) 集団回収

資源の有効利用を図るため、町会・自治会、PTA、老人クラブなどの団体が行っている資源回収に対し支援を行った。

(2) 食品廃棄物減量

① たい肥づくり講習会

家庭から排出される生ごみの減量及びリサイクルを推進するため、ベランダなど家庭でできるたい肥の作り方を教える講習会を、一般向け、親子向けの講座としてそれぞれ行った。

② いたばしみんなの食べきりチャレンジ

飲食店や小売店などに「食べきりチャレンジ運動」参加協力店舗を募り、各店舗での食品ロスを減らす取組をポスター掲示するとともに区ホームページに掲載し、区民にPRした。

区民に対しては、余っている食材を集めて料理を作る「サルベージ・パーティ®」や規格外の野菜類で作ったスープを試食する「いたばしディスコスープ」、「食べきりトークショー・映画上映会」の実施のほか、商店街やスーパーでチラシ等の配布を行い、食べきりについて周知した。

③ フードドライブの実施

家庭等で余っている食品等を区民に持ち寄ってもらい、フードバンクを通じ、広く地域の福祉団体や施設などに提供した。

(3) 環境美化啓発

① 「エコポリス板橋クリーン条例」に基づき、路上での喫煙行為を終日禁止した「路上禁煙地区」を指定し、迷惑喫煙等防止業務委託により違反者に対する指導・啓発を実施した。

「路上禁煙地区」指定年度及び地区

平成16年度	大山駅・板橋区役所周辺地区	上板橋駅周辺地区	成増駅周辺地区
平成17年度	板橋駅・新板橋駅周辺地区	ときわ台駅周辺地区	高島平駅周辺地区
平成18年度	東武練馬駅周辺地区		
平成21年度	志村坂上駅周辺地区		

② 「板橋区喫煙マナーアップ推進員制度」を創設(平成17年度)し、区民との協働により、歩きタバコや吸殻のポイ捨てなどの迷惑喫煙行為防止のため、推進員の自主活動及び駅頭での喫煙マナーアップキャンペーンを実施した。

③ 公衆喫煙所の設置

改正健康増進法と東京都受動喫煙防止条例の施行に伴い、望まない受動喫煙防止の観点から、地区を限定して、コンテナ型の公衆喫煙所の設置を進めた。

なお、令和元年度は1か所(高島平駅周辺地区)設置した。

(4) エコポリス板橋環境行動会議

人と環境が共生する都市「エコポリス板橋」を実現するため、住民による任意の環境活動が、組織的な連携の場を持つことにより一層活発化することをめざし、平成13年10月にエコポリス板橋環境行動会議を設立した。また、令和元年度は4月、7月、11月、2月の計4回開催した。

(5) エコポリス板橋環境行動委員会

地区における環境活動組織として、地域センターの所管区域を単位として設立されたエコポリス板橋地区環境行動委員会に対し、補助対象経費の4分の3を限度として予算の範囲内において補助した。

2 施策の現況

(1) 集団回収

		29年度	30年度	元年度
集団回収実践団体 ()内は区立小・中学校数	団 体 数	902(27)	903(26)	903(24)
	世 帯 数	273,451	272,780	271,693
	回収量 (kg)	13,268,807	12,784,308	12,090,490

(2) 食品廃棄物減量

		29年度	30年度	元年度
たい肥づくり講習会	回 数	3	3	2
	参 加 者	70	44	39
サルベージ・パーティ®	回 数	—	—	3
	参 加 者	—	—	41
いたばしディスコスーブ	回 数	—	—	2
	参 加 者	—	—	390
食べきりトークショー・映画上映会	回 数	—	—	1
	参 加 者	—	—	222
フ ー ド ド ラ イ ブ	回 数	5	7	9
	参 加 者	54	97	145

(3) 環境美化啓発

		29年度	30年度	元年度
喫煙マナーアップ推進員	登録者数	85	87	93
喫煙マナーアップキャンペーン	回数	28	25	22
公衆喫煙所設置	件数	—	—	1

(4) エコポリス板橋環境行動会議

		29年度	30年度	元年度
エコポリス板橋環境行動会議	回数	4	4	4
春の板橋クリーン作戦	団体	236	250	248
	参加者	10,366	10,186	10,076
打ち水キャンペーン	団体	109	112	118
	参加者	5,705	4,906	4,529
緑のカーテン見学ツアー	参加者	13	10	—
秋の板橋クリーン作戦	団体	234	240	240
	参加者	10,668	10,250	9,507
ポイ捨て防止キャンペーン	団体	62	64	62
	参加者	1,153	1,202	1,383
エコライフフェア冬	参加者	170	110	168
環境講演会	参加者	31	—	—
板橋クリーン作戦ごみ拾い選手権	参加者	31	26	0(※中止)

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業について中止とした。

(資源環境費)

事業名		予算規模	決算規模
6 資源の収集・再資源化		1,304,667,000 円	1,298,896,878 円
内	資源収集	1,112,676,000	1,108,070,735
訳	資源化施設運営	191,991,000	190,826,143

1 施策の成果

(1) 資源の収集・再資源化

① 古紙、ペットボトル、びん・缶回収、食品用トレイ・ボトル容器モデル回収

古紙、ペットボトル、びん・缶の集積所回収及び再資源化を行った。

また、平成28年度より、大規模マンション及び一部集積所にて食品用トレイ・ボトル容器の再資源化のため、分別モデル回収を開始した。

古紙回収車両 延 2,709台 ペットボトル回収車両 延 3,234台

びん・缶回収車両 延 4,683台 食品用トレイ・ボトル容器回収車両 延 310台

② 拠点回収

紙パック、廃乾電池、食品用トレイ、ボトル容器、廃食用油、古布・古着、使用済小型家電の拠点回収及び再資源化を行った。

③ 使用済小型家電等ピックアップ回収

収集した粗大ごみの中から使用済小型家電等のピックアップ回収を実施した。

④ 不燃ごみ(100%)資源化

平成28年度より、収集した不燃ごみの約30%の中から再資源化できるものを選別し、再資源化する事業を開始した。平成29年度からは、当該事業を拡大し、収集した不燃ごみの全量を選別・資源化を行った。なお、令和元年度より不燃ごみを100%資源化することが可能となった。

⑤ 総合安心・安全パトロールの実施

平成30年6月より、「板橋区安心・安全パトロール(防災危機管理課)」、「資源持ち去り防止パトロール(資源循環推進課)」及び「公園総合防犯警備業務(みどりと公園課)」の3つのパトロール業務を統合し、24時間切れ目のないパトロールの実施や危機管理情報の一元化等、パトロール業務の質の向上を図るため「総合安心・安全パトロール」を開始した。

(2) 資源化施設運営

リサイクルプラザ(処理ゾーン)において、びん・缶の中間処理(選別・圧縮)を行った。

2 施策の現況

(1) 古紙、ペットボトル、びん・缶、食品用トレイ・ボトル容器

	29年度	30年度	元年度
アルミ・スチール缶 (kg)	1,629,180	1,636,390	1,532,980
びん (kg)	4,322,481	4,167,706	4,060,085
古紙 (kg)	4,719,547	4,633,293	4,768,699
ペットボトル (kg)	2,009,700	2,151,070	2,244,310
食品用トレイ (kg)	7,010	7,010	7,800
ボトル容器 (kg)	7,190	8,210	9,580

(2) 拠点回収

	29年度	30年度	元年度
紙パック (kg)	36,380	36,870	34,110
廃乾電池 (kg)	70,580	71,220	54,630
食品用トレイ (kg)	7,660	7,430	7,800
ボトル容器 (kg)	11,220	11,300	10,850
廃食用油 (kg)	4,787	4,990	5,250
古布・古着 (kg)	89,443	88,904	95,608
使用済小型家電 (kg)	4,101	5,020	4,911

(3) 使用済小型家電等ピックアップ回収

	29年度	30年度	元年度
資源化量 (kg)	476,334	497,836	536,242

(4) 不燃ごみ資源化

	29年度	30年度	元年度
資源化量 (kg)	2,839,547	2,850,073	3,135,409

(5) 資源持ち去り防止パトロール

	29年度	30年度	元年度
資源持ち去り防止パトロール(日数)	310	308	310

(資源環境費)

事業名		予算規模	決算規模
7 清掃事業の推進		3,749,059,000 円	3,725,002,816 円
内 訳	廃棄物収集	1,823,130,000	1,800,387,185
	ごみ処理券	32,268,000	30,956,882
	粗大ごみ受付	40,950,000	40,949,120
	ごみ・し尿処理	1,852,711,000	1,852,709,629

1 施策の成果

一般廃棄物の適正な処理を行うための施策を実施した。

(1) 廃棄物収集

- ① 車両雇上 収集車両 年間稼働台数 延 25,825台 (し尿収集105台含む)
- ② 直営車両維持 収集車両 年間稼働台数 延 9,001台
- ③ 作業運営 粗大ごみ収集・運搬、中継業務委託を実施した。

(2) ごみ処理券

ごみ処理券印刷及び取扱所(342所)への手数料支払等、手数料の徴収に係る制度運営を図った。

事業系ごみ処理券交付枚数 835,855 枚 粗大ごみ処理券交付枚数 1,096,905 枚

(3) 粗大ごみ受付

(公財)東京都環境公社が運営する粗大ごみ受付センターに業務委託し、利便性と効率化を図った。また、粗大ごみの収集日及び収集終了をEメールでお知らせするサービスを実施した。

(4) ごみ・し尿処理

東京二十三区清掃一部事務組合のごみ処理施設(清掃工場及びその他施設)、し尿処理施設の整備及び運営における経費について、板橋区分を負担した。

2 施策の現況

(1) 廃棄物収集

	29年度	30年度	元年度
可燃 (t)	101,151	100,353	101,169
不燃 (t)	3,146	3,185	3,135
粗大 (t)	3,876	3,863	4,027
合計 (t)	108,173	107,401	108,331

(2) 粗大ごみ受付

	29年度	30年度	元年度
受付数 (件)	307,969	328,781	363,835
収集数 (個)	492,137	496,424	517,167

(資源環境費)

事業名	予算規模	決算規模
8 リサイクルプラザ運営	26,729,000 円	26,258,258 円

1 施策の成果

資源の有効利用に関する区民意識の啓発並びに知識及び経験の普及を図った。また、リサイクルプラザについては、平成18年1月の開設当初から指定管理者制度を導入した。

(1) 展示型イベント

展示名	開催期間
G W スタンプラリー	4月27日～5月6日
緑のカーテンパネル展	5月13日～5月26日
生物多様性パネル展	7月14日～7月31日
夏休みスタンプラリー	7月23日～7月31日
海洋ごみについて考えようパネル展	8月6日～8月30日
荒川の野草写真展	11月1日～11月24日
地球温暖化パネル展	12月7日～12月22日
荒川のパネル展	1月11日～1月26日

(2) 出前講座 合計 17回 867人

出前先	実施日	参加者	出前先	実施日	参加者
舟渡小あいキッズ	4月23日	18人	板橋区役所3R推進イベント	10月2日	22人
高島第二小あいキッズ	5月24日	36人	高島第二小あいキッズ	10月11日	23人
仲宿地区まつり	5月26日	230人	いたこうフェスタ	11月2日	182人
舟渡小あいキッズ	6月11日	15人	舟渡小あいキッズ	11月12日	20人
高島第二小あいキッズ	7月12日	36人	舟渡小あいキッズ	1月14日	12人
ウェルカムキッズフェス	7月15日	112人	高島平エコエコリサイクルまつり	2月1日	110人
西台図書館	8月9日	6人	舟渡小あいキッズ	2月18日	20人
東板橋図書館	8月24日	12人	舟渡桜まつり	3月29日	0人 (※中止)
舟渡小あいキッズ	9月10日	13人			

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業について中止とした。

(3) ワークショップ等 合計 35回 2,137人

内 容	回数	参加者	内 容	回数	参加者
裂き織りぞうり	3回(※ほか1回中止)	40人	プラスチックリサイクル実験	1回	31人
金継ぎ講座	3回	32人	クラフトひもでかご編み作り	1回	10人
おもちゃ交換会 & フリーマーケット	2回(※ほか1回中止)	624人	野鳥観察会	1回	12人
苔玉作り	2回	19人	廃油せっけん作り	1回	15人
荒川クリーン活動	2回	21人	ペットボトルで雲作り	1回	13人
和小物手芸「タペストリー」	2回	18人	手作りハーバリウム	1回	11人
和小物手芸「紙ふうせん」	1回	10人	天体望遠鏡作り	1回	10人
和小物手芸「飾り作り」	1回	10人	リサイクル銀粘土工作	1回	12人
いたぶら夏まつり	1回	744人	牛乳パック手すきはがきと雅印作り	1回	14人
いたぶら秋まつり	1回	337人	親子で学ぼう！食育講座	1回	15人
お茶とそのリサイクルを学ぼう	1回	12人	環境漫才&フリーマーケット	1回	50人
ソーラーパワーの秘密	1回	24人	「エコたわし」作り	1回	10人
ペットボトルで雪の結晶作り	1回	14人	コーヒーとそのリサイクルを学ぼう	1回	11人
あきびんで万華鏡作り	1回	18人			

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部事業について中止とした。

(4) 日曜こども講座 合計 39回 248人

開催期間	回数	参加者
4月～9月	21回	150人
10月～3月(※ほか3回中止)	18回	98人

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

2 施策の現況

		29年度	30年度	元年度
来館者(人)		25,345	25,458	26,620
施設見学者(人)		1,515	1,784	1,360
家具等不用品	販売数(点)	572	618	774
再生展示販売	売上(円)	645,500	647,000	558,400

(資源環境費)

事業名		予算規模	決算規模
9 環境保全・公害対策の推進		36,145,000 円	35,480,612 円
内	大 気 監 視	33,871,000	33,227,016
訳	騒 音 監 視	2,274,000	2,253,596

1 施策の成果

事業名	内 容
大 気 監 視	(1) 光化学スモッグ緊急時対策 注意報等が発令された緊急時に保育園・学校等に連絡
	(2) 環境監視システム常時測定 ・ 区内6か所に設置した測定室から伝送された電子データを処理し、大気汚染・気象状況・沿道騒音を監視・解析 ・ 区内2か所の東京都大気汚染常時測定局のデータも活用 ・ PM2.5については、区内都測定局2か所のほか、相生町測定室で区独自に常時測定
	(3) 大和町交差点対策 国土交通省関東地方整備局設置「大気浄化技術評価委員会」(未開催)
	(4) 浮遊粒子状物質調査 3地点 年4回
	(5) 有害化学物質調査 3地点 年4回
騒 音 監 視	(1) 庁有低公害車の導入 全庁有者109台中81台(保有台数)
	(2) 自動車交通量対策(庁内ノーカーデー)
	(3) アイドリング・ストップの啓発
	(4) 自動車騒音の常時監視 5評価区間
	(5) 自動車公害調査 17地点 1地点2～4日間
	(6) 酸性雨調査 1地点 降雨時
	(7) 微小粒子状物質(PM2.5)調査 3地点 年4回
	(8) 国土交通省が実施した羽田空港機能強化に伴う説明会への協力 地域説明会(教室型) 4回、参加者 延245人 オープンハウス型説明会(第六フェーズ) 3回、参加者 延582人

2 施策の現況

		29年度	30年度	元年度
全 庁 有 車 保 有 台 数		109	103	109
うち庁有低公害車保有台数	天 然 ガ ス 車 台 数	3	2	2
	ハ イ ブ リ ッ ド 車 台 数	13	13	16
	指 定 低 公 害 車 台 数	64	60	63
	計	80	75	81

(資源環境費)

事業名		予算規模	決算規模
10 し尿・動物死体収集		12,943,000 円	12,199,654 円
内	し尿収集	9,354,000	9,048,410
訳	動物死体収集・処理	3,589,000	3,151,244

1 施策の成果

(1) し尿収集

家庭のし尿について、区が無料で収集を行った。なお、北区、豊島区のし尿についても併せて実施した。

(2) 動物死体処理

ペットなどの動物死体について、区が有料で収集及び処理を行った。また、都道及び区道上ほか、区立公園内の動物死体も清掃事務所で一元化して収集及び処理を開始した。

なお、都道分については、東京都と協定を結び、板橋区において収集及び保管を行った。

2 施策の現況

(1) し尿収集

	29年度	30年度	元年度
戸数(戸)	54	50	46
収集量(kL)	62	58	62

※ 戸数及び収集量は、豊島区(2戸)、北区(11戸)、板橋区(33戸)の合計である。

(2) 動物死体処理

処理区分	処理件数	種別		
		猫	犬	その他
届出分(頭)	909	735	68	106
都道分(頭)	19	15	0	4
合計(頭)	928	750	68	110

(資源環境費)

事業名	予算規模	決算規模
11 工場等公害防止	4,129,000 円	4,111,339 円

1 施策の成果

事業名	内容
工場等公害防止	(1) 啓発宣伝
	① 研修会等の実施 5回(※ほか1回中止、資料対応とした。)
	② 「環境管理ニュース」の発行 年6回 各180部
	③ 騒音計等の貸出し 騒音計 4台 延貸出回数 43回 検定済騒音計・振動計及び検査済記録計一式 延貸出回数 39回
	④ 騒音・振動測定講習会の実施 1回
	(2) 公害苦情の処理、公害・環境問題の相談
	(3) 公害対策
	① 夜間監視 夜間作業実施工場、深夜営業の事業所の立ち入り調査等
	② 深夜営業飲食店騒音対策
	③ 土壌汚染対策
④ 化学物質対策	
⑤ アスベスト等飛散防止対策	
⑥ 悪臭規制	
⑦ 燃料規制 硫黄酸化物対策のための燃料採取・分析・改善指導を実施	
⑧ 公害防止管理者の選任・指導	

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

2 施策の現況

	29年度	30年度	元年度
公害関係苦情受付数(件)	235	240	233
夜間監視(対象事業所延数)	276	261	245

(資源環境費)

事業名		予算規模	決算規模
12	水質保全等	8,100,000 円	7,876,934 円
内 訳	水辺ふれあい	2,691,000	2,689,488
	都市の水循環回復	401,000	249,384
	自然との共生	5,008,000	4,938,062

1 施策の成果

(1) 水辺ふれあい

- ① 水質汚濁調査(毎月)及び水質汚濁総合調査(年2回) 4河川、池 3か所
- ② 隅田川水系浄化対策連絡協議会、白子川流域環境協議会及び石神井川流域環境協議会
における縦断調査(年2回)
新河岸川・白子川・石神井川水質調査 白子川・石神井川流量調査
- ③ 生物調査(白子川・石神井川) 4地点 年1回
- ④ 地下水水質調査 15地点 年1回
- ⑤ 湧水量調査 4地点 月1回

(2) 都市の水循環回復

- ① 地下水の保全
雨水貯留タンク設置助成 12 個
- ② 板橋区地下水及び湧水を保全する条例(平成19年4月1日施行)に基づく湧水保全地域の
指定及び井戸の利用届等申請の受付 0 件

(3) 自然との共生

- ① カラスの巣撤去と捕獲
巣撤去 1 個 卵、ヒナの撤去 8 件 トラップによる捕獲 77 羽
- ② ビオトープの維持管理
赤塚溜池公園内自然池については、協定により区内自然保護団体が管理
- ③ ハクビシン等被害対策
箱わな設置 44 件 捕獲数 18 頭(ハクビシン13頭、アライグマ5頭)
- ④ 区民参加型いきもの情報共有事業
調査期間 6月1日～10月31日 参加人数 478人(累計) 報告件数 2,228件(268種)
第1回自然観察会 7月28日(日) 都立赤塚公園 参加人数 20名
第2回自然観察会 9月15日(日) 区立荒川戸田橋緑地生物生態園 参加人数 18名
報告会(パネル展) 12月23日～27日 板橋区役所1階プロモーションコーナー
ニュースレターの発行 2,000部
環境省Webサイト「いきものログ」への登録

(資源環境費)

事業名	予算規模	決算規模
13 熱帯環境植物館の運営	143,320,000 円	142,640,417 円

1 施策の成果

熱帯林の減少等地球環境問題について、東南アジアの熱帯植物を中心とした展示を通じ、区民の意識啓発を図った。平成17年度から指定管理者制度を導入。令和元年度、開館25周年を迎え、記念イベントを開催した。

(1) 企画展示等 合計 96,245人

展示名	開催期間	入館者(人)
春休み特別展 体感水族館	4月2日～4月7日	3,034
おいしい植物館	4月16日～5月12日	11,419
メダカ展	6月1日～6月30日	9,306
夏休み特別展 昆虫と食虫植物	7月13日～9月1日	23,750
マレーシア展	9月10日～10月6日	5,038
開館25周年記念イベント & ねったいかんフェスティバル	9月21日～9月23日	13,505
ねったいかん芸術祭	10月8日～10月20日	2,265
おいしい水族館	11月2日～11月24日	6,162
クリスマス展	12月3日～12月25日	4,954
らん・ラン・蘭展 2020	1月2日～1月13日	4,951
お茶と香り展	1月28日～3月1日	9,536
春休み特別展 体感水族館 2020	3月14日～3月31日	2,325 (※変更→中止)

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業の内容を変更し、その後中止とした。

(2) イベント等

事業名	実施回数	参加者(人)
教室・講演会等	94(※ほか2回中止)	1,933

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(3) 熱帯環境植物館 施設の老朽化等に伴う改修工事

自動ドア更新・冷却塔部品交換・外気調和機部品交換・ボイラー用温水ポンプ更新
2階展示室系統コントローラー更新・給排水ポンプ類更新

2 施策の現況

	29年度	30年度	元年度
入館者(人)	115,079	122,021	114,666

(資源環境費)

事業名		予算規模	決算規模
14	地球温暖化対策	36,580,000 円	33,720,360 円
内	地球温暖化防止	5,530,000	5,210,360
訳	新エネルギー・省エネルギー普及啓発	31,050,000	28,510,000

1 施策の成果

(1) 地球温暖化防止

① 『緑のカーテン』の公共施設(学校除く)への設置

公共施設94施設(内訳:保育園(37)、児童館(8)、地域センター(13)、その他(36))へ苗等の資材配付を実施し、施設での省エネルギーの推進及び施設利用者や周辺住民への普及を行った。

② 新エネ・省エネNo.1エコ庁舎推進事業

平成23年度から区立文化会館及び上板橋体育館を対象に、ESCO事業(省エネ改修工事等サービス)を実施した。令和元年度は、両施設においてESCOサービス(効果検証)を行った。

③ (仮称)板橋区地球温暖化対策実行計画(区域施策編)2025の策定に向けた基礎調査

現行計画である板橋区地球温暖化対策実行計画(区域施策編)は令和2年度が計画終了年度であり、令和3年度からの新たな計画を策定する。

令和元年度は、基礎調査(区民・事業者等への意向聴取を含む。)を実施した。

(2) 新エネルギー及び省エネルギー機器等導入補助

一般家庭及び中小規模事業所に新エネルギー及び省エネルギー機器の利用を促進するため、設置に伴う経費の一部を補助した。

① 住宅用 【補助対象者】 区内の住宅に機器等を購入し、使用する者。

《新エネルギー機器》

ア 住宅用太陽光発電システム設置(出力1kW当たり25,000円(上限10万円)) 56 件

《省エネルギー機器等》

イ 住宅用燃料電池システム設置(設置に要する経費100分の5(上限5万円)) 95 件

ウ 住宅用蓄電池システム設置(容量1kWh当たり10,000円(上限5万円)) 20 件

エ HEMS設置(1台当たり定額1万円。ただし、補助対象経費が定額を下回る場合は1千円未満を切り捨てた金額) 19 件

オ 断熱化住宅(単体) 窓のみ・断熱材のみ(設置に要する経費100分の25(上限8.5万円)) 45 件

カ 断熱化住宅(複合) 窓 + 断熱材(設置に要する経費100分の25(上限12万円)) 8 件

キ 既存住宅のLED化(個人住宅(設置に要する経費100分の20(上限2.5万円))) 11 件

ク 既存住宅のLED化(集合住宅共用部(設置に要する経費100分の20(上限25万円))) 65 件

② 事業所用 【補助対象者】 申請時点において区内に所在する中小規模事業所。

《新エネルギー機器》

ア 事業所用太陽光発電システム設置 0件

《省エネルギー機器》

イ 省エネ診断の結果に基づき導入する節電その他の省エネに資する設備・機器 8件

※ 補助額は、ア、イとも、設置に要する経費100分の20(上限50万円 ただし、板橋エコアクション等の取組事業者は、上限100万円)

2 施策の現況

(1) 「緑のカーテン」の公共施設(学校除く)への設置施設数

	29年度	30年度	元年度
公共施設	91	88	94

(2) ESCOサービス(効果検証)

対象施設	29年度		30年度		元年度	
	エネルギー削減率(%)	CO ₂ 削減量(t-CO ₂)	エネルギー削減率(%)	CO ₂ 削減量(t-CO ₂)	エネルギー削減率(%)	CO ₂ 削減量(t-CO ₂)
区立文化会館	18.40	149.90	17.08	138.40	17.57	142.62
上板橋体育館	35.20	293.70	35.48	296.70	35.15	293.62
教育科学館	32.10	77.80	ESCOサービス(効果検証)の終了		ESCOサービス(効果検証)の終了	
大原生涯学習センター	17.00	22.10				

(3) 新エネルギー及び省エネルギー機器等導入補助件数

	29年度	30年度	元年度
合計(住宅用及び事業所用)	336	314	327
住宅用(新エネルギー機器及び省エネルギー機器)計	321	305	319
住宅用(新エネルギー機器)計	53	47	56
太陽光発電システム	53	47	56
住宅用(省エネルギー機器等)計	268	258	263
燃料電池システム	125	118	95
蓄電池システム	14	16	20
HEMS	20	16	19
断熱化住宅(単体)窓のみ・断熱材のみ	46	42	45
断熱化住宅(複合)窓 + 断熱材	-	-	8
既存照明のLED化(個人住宅)	-	-	11
既存照明のLED化(集合住宅共用部)	63	66	65
事業所用(新エネルギー機器及び省エネルギー機器)計	15	9	8
新エネルギー機器(太陽光発電システム)	0	0	0
省エネルギー機器(省エネ診断の結果に基づき導入する設備・機器)	15	9	8

(資源環境費)

事業名	予算規模	決算規模
15 P C B 廃棄物処理	469,977,000 円	468,753,691 円

1 施策の成果

(1) 高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物の処理

高濃度ポリ塩化ビフェニルを含有する安定器等(以下、「高濃度PCB廃棄物」という。)の処理期限については、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(以下、「PCB特措法」という。)に定められた処理期限(令和5年3月31日)までに適正に処理しなければならない。

区が保有する高濃度PCB廃棄物は、旧三園中継所に保管されている。東京都内で発生した高濃度PCB廃棄物の処理は、国が定めたPCB廃棄物処理基本計画において、北海道室蘭市の処分場で行うよう定められていることから、処分事業者と計画調整を図り、計画的に処理していく。

(2) 都の通知に基づく新たな調査依頼への対応

① 区では、PCB特措法の制定を受け、昭和49年までに竣工した区施設を対象として平成12年度に全数調査を既に実施し、発見された高濃度PCB廃棄物については、令和元年度から計画的に処理している。

しかし、都の通知に基づき、平成12年度に実施した全数調査の対象外であった昭和50年から昭和52年3月までに竣工した区施設の照明設備や未調査の道路街灯等について、改めて掘り起こし調査をするよう依頼があったため、調査を実施した。

また、未実施だった橋りょうについても、塗膜に高濃度ポリ塩化ビフェニルが使用されている可能性があることから調査を行うよう通知があったため、調査を実施した。

② 都の通知に基づく新たな調査実施結果

	調査数	高濃度PCB含有疑いのある安定器等
街 灯 (基)	8,074	74
区 施 設 (施設)	77	18
公 園 (か所)	43	2
橋 り よ う (基)	24	0

2 施策の現況

高濃度PCB廃棄物の処理

	元年度
総 保 管 量 (t)	13.6
処 理 (t)	9.9
残 量 (t)	3.7

(土木費)

事業名		予算規模	決算規模
16	緑の保全	21,163,000 円	19,796,704 円
内	「板橋区の森」維持管理	2,033,000	1,975,621
訳	保存樹木等保護	19,130,000	17,821,083

1 施策の成果

(1) 「板橋区の森」維持管理

栃木県日光市(旧栗山村)にある約13haの「板橋区の森」において、森林ボランティアの維持作業を通じて、分収造林の育成を行った。また、森林組合による保育間伐を行った。

(2) 保存樹木等保護

残り少ない緑を保存していくための樹木、樹林、竹林及び生垣の保存指定制度に基づき、管理経費の一部助成等を行った。

	概要
保存樹木等	保存樹木 1,685本、保存樹林 13,069㎡
管理助成金	保存竹林 1,269㎡、保存生垣 3,098m
剪定助成	保存樹木 184本
管理工事助成	支障枝の除去

※保存樹木等の概要は、指定分のうち助成金支払数量

2 施策の現況

(1) 「板橋区の森」維持管理

① 分収造林契約

所在地	栃木県日光市土呂部字木ノコ峰 26林班ほ2,3,4小班
分収造林契約	平成2年2月6日から令和46年2月5日まで
面積	127,250㎡
植栽樹種	クリ・ケヤキ・ヒノキ・スギなど41,600本

② 維持作業委託

	29年度	30年度	元年度※
委託回数	3回	2回	4回

※ 森林組合による保育間伐を含む。

(2) 保存樹木等保護

	29年度	30年度	元年度
保存樹木	1,826 本	1,798 本	1,781 本
保存樹林・竹林	41,256 ㎡	32,904 ㎡	32,442 ㎡

(土木費)

事業名		予算規模	決算規模
17 適切な管理による魅力ある公園づくり		929,620,000 円	913,317,249 円
内 訳	公園改修	616,490,000	603,453,328
	公園・公衆便所の改修	62,343,000	61,580,288
	公園遊具の更新	45,950,000	45,890,045
	公園灯の更新	146,536,000	144,945,901
	特殊技師による危険樹木の解消	10,136,000	10,125,186
	総合パトロールの実施	22,279,000	22,129,521
	公園等土砂災害警戒区域斜面地の点検調査	3,190,000	3,190,000
	犬の連込みマナーアップ啓発	12,719,000	12,025,980
	新たな公園管理・運営手法の創出	9,977,000	9,977,000

1 施策の成果

(1) 公園改修

- ① 日暮台公園、徳丸三ツ和公園、石成公園において、バリアフリー化工事を行った。
- ② 中台南坂緑地がけ改修工事、石神井川緑道部分等において改修工事を行った
- ③ 板橋公園周辺道路において、車道及び歩道の整備工事を行った。
- ④ 旧大山小跡地において、暫定開放のため金網柵・看板設置等工事を行った。
- ⑤ 東板橋公園において、動物園の建築工事や付帯施設の工事等を行った。

(2) 公園・公衆便所の改修

日暮台公園、徳丸三ツ和公園、石成公園において、トイレの改修工事を行った。

(3) 公園遊具の更新

志村第三公園ほか13箇所において、遊具24基の更新工事を行った。

(4) 公園灯の更新

小豆沢公園ほか86箇所において、公園灯238基の更新工事を行った。

(5) 特殊技師による危険樹木の解消

高所作業車等の使用の困難な公園において、高度なロープアクセス技術を持つ特殊技師による剪定・伐採を行い危険樹木の解消を図った。

(6) 総合パトロールの実施

「板橋区安心・安全パトロール(防災危機管理課)」、「資源持ち去り防止パトロール(資源循環推進課)」及び「公園総合防犯警備業務(みどり公園課)」の3つのパトロール業務を統合し、24時間切れ目のないパトロールの実施や危機管理情報の一元化等、パトロール業務の質の向上を図るため「総合安心・安全パトロール」を実施した。

(7) 公園等土砂災害警戒区域斜面地の点検調査

土砂災害(特別)警戒区域内の公園等において、今後の維持管理、補修計画の基礎資料を作成するため、斜面の健全度点検調査を行った。

(8) 犬の連込みマナーアップ啓発

平成31年4月1日に板橋区公園条例を改正し、45公園で犬の連込みが可能となった。従来から可能であった10緑道と合わせ、計55公園等にてマナーアップ啓発事業を実施した。

(9) 新たな公園管理・運営手法の創出

民間活力導入の可能性を確認するために、全区立公園を対象として、ヒアリングやアンケートによるマーケットサウンディング調査を実施し、民間事業者の活力導入可能性を確認した。

また、計画条件等の整理、利活用方針の検討等を行った。

2 施策の現況

(1) 公園改修

	29年度	30年度	元年度
バリアフリー化工事(か所)	4	4	3

(2) 公園・公衆便所の改修

	29年度	30年度	元年度
トイレ改修工事(か所)	4	4	3

(3) 公園遊具の更新

	29年度	30年度	元年度
遊具更新工事	(か所) 17	17	15
	(基数) 21	24	24

(4) 公園灯の更新

	元年度
公園灯更新工事	(か所) 87
	(基数) 238

(5) 特殊技師による危険樹木の解消

	29年度	30年度	元年度
剪 定	35 本	30 本	16 本
伐 採	19 本	5 本	4 本

(6) 公園等土砂災害警戒区域斜面地の点検調査

	30年度	元年度
点検公園数	15 か所	21 か所

(7) 公園の状況

区 分	か所数	面 積
公 園	216	667,212 m ²
児 童 遊 園	125	76,437 m ²
緑 地	3 ※	678,082 m ²
計	344	1,421,731 m ²

※荒川戸田橋緑地・高島平緑地・大谷口北町緑地

(土木費)

事業名	予算規模	決算規模
18 赤塚植物園再整備	63,661,000 円	60,657,688 円

1 施策の成果

令和元年度は、赤塚植物園管理舎改築工事を開始し、令和2年度に完了予定である。植物園機能充実による魅力向上に向けてQRコード付き樹名板として検索による案内の充実を図った。

2 施策の現況

	元年度
赤塚植物園管理舎改築工事	39,500,000 円
赤塚植物園仮設事務所の賃貸借	14,659,331 円
移転経費等	6,498,357 円

(土木費・教育費)

事業名		予算規模	決算規模
19	緑化推進	136,263,000 円	133,922,875 円
内	民間施設緑化	5,018,000	2,868,000
訳	公共施設緑化	131,245,000	131,054,875

1 施策の成果

各種緑化事業の実施により、緑豊かなまちづくりを推進した。

(1) 民間施設緑化

接道部及び屋上緑化助成を行った。

(2) 公共施設緑化

区分	概要
学校緑化工事	樹木伐採工事・生垣設置工事(板橋フレンドセンター)
学校植栽管理	剪定、刈込ほか

2 施策の現況

屋上緑化助成・接道部緑化助成・壁面緑化助成

	29年度	30年度	元年度
屋上緑化面積	0.0 m ²	0.0 m ²	18.6 m ²
助成件数	0 件	0 件	1 件
接道部緑化	7 本 0 株	2 本 17 株 生垣 24.7 m	44 本 145 株 生垣 49.8 m
助成件数	3 件	3 件	9 件
ブロック塀等撤去	35.1 m ²	12.8 m ²	101.0 m ²
助成件数	1 件	1 件	4 件
壁面緑化面積	0.0 m ²	0.0 m ²	0.0 m ²
助成件数	0 件	0 件	0 件

(土木費)

事業名		予算規模	決算規模
20	緑化啓発	29,401,000 円	29,020,801 円
内	グリーンフェスタ	1,246,000	1,241,763
訳	地域緑化啓発	28,155,000	27,779,038

1 施策の成果

(1) グリーンフェスタ2019

期 日 令和元年5月11日(土)～19日(日)

場 所 赤塚植物園

参加者 5,109人

(2) 地域緑化啓発

緑のガイドツアー、公園樹刈り込みボランティア活動、緑地・樹木の実態調査を行った。

2 施策の現況

(1) グリーンフェスタ

	29年度	30年度	元年度
開催場所	赤塚植物園	赤塚植物園	赤塚植物園
参加者	5,450 人	4,780 人	5,109 人

(2) 緑地・樹木の実態調査

板橋区の現在のみどりの状況を把握し、今後の緑化行政の基礎資料とするため、5年に一度行っている。

	元年度
緑被率	19.37 %
みどり率	23.35 %